

名家連ニュース

平成 29 年 9 月 27 日 (水)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 484 号

♠◇♣♡ 第28回家族交流事業「晴れときどき虹」♡♣◇♠

中澤正夫医師の講演会に300名を超える方々が参加



9月23日(土)「こころの健康を願う家族と市民の集い・晴れときどき虹(中区役所ホール)」のオープニングと講演会に「市民」「家族・当事者」「医療・福祉・行政関係者」「学識者・学生」などが参加。

日本の精神科医療の先駆者である「中澤先生」は、講演の中で「これからは、当事者が何をしたいか、当事者が主体となって考える時代」であることを具体的事例から紹介されました。

親が心配のあまり、余計な手出し、口出しをするのも考え物かな…と改めて考えさせられました。質疑においても「当事者の主体性を尊重する」…という立場で対応されていました。日常生活において本人のニーズより自分の考えを優先してしまうことは、私にも思い当たる節があり、大変勉強になりました。(担当者：末次文夫)

9月21日(木)第1回古水医師の基礎講座開催

第1回精神疾患の基礎知識講座で、古水医師は「精神疾患とは」「精神疾患とはどのような病気か」「その特徴(難しさとつらさ)」を解説し、正しい知識を得ることの大事さをお話しされました。連続講座が「南医療生協」の機関誌に掲載されたこともあり、当日は家族会員だけでなく生協の組合員も含め85名の方々が参加されました。次回の第2回基礎講座は10月19日(木)です。



精神科特例とは？

9月7日(木)の昭和家族会「親亡き後/学習会」で質問があった「精神科特例」の情報をお届け致します。
☆1958年当時の厚生省は、局長通達で医療法では認めていなかった「精神科特例」を設けました。
☆その内容は、一般病院と比較して報酬単価1/3、医師1/4、看護師・職員総数1/2となっています。
☆安上がりの精神医療政策は、当事者と家族に犠牲を強いており、同時に、精神科病院の医師や看護師の犠牲の上に成り立っているといっても過言ではありません。

《100床当たりの職員数》「病院報告」2012年

	職員総数	医師	薬剤師	看護師
一般病院	135人	14.7人	3.1人	59.7人
精神科病院	66.7人	3.4人	1.2人	32.5人

《日当点》2010年

	日当点
一般病院	38,114円
精神科病院	12,019円

※2016年月刊みんなねっと誌「氏家憲章氏の連載記事・精神科医療の現状と改革の展望」から抜粋